



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2021-2022 R.Iテーマ  
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	町田 秀雄	幹事	白井 威	会報委員長 古本 良子

### 第1805回例会 2022年5月10日(火)

2022年5月17日発行 第1626号

**本日のお客様** ほう てい てい 方 婷 婷 様(米山奨学生 日高 RC 所属 駿河台大学在学)

#### 会長報告 町田秀雄会長

連日テレビ等でウクライナ情勢が放送されておりますが、最近気になっているワードがございます。ロシアに於いての『戦勝記念日』(当日はパレードを開催)という言葉です。プーチン大統領が、世界大戦の歴史を自国、そして世界へ知らせる為の手段の一つではあると思いますが…。曲解報道されているように感じてなりません。確かに風化させてはいけない歴史ではありますが、今回のウクライナに対しての侵略戦争に於いて、正当化の材料にはいけないと感じます。我が国にも、遡れば悲惨な戦争の歴史がございます。こと、第二次世界大戦最中の沖縄に於いては、悲劇としか言いようのない哀しい物語が数多くございます。本日は『特攻の母』と呼ばれた、富屋食堂の女将、鳥浜 トメさんの話を少しですがさせていただきます。トメは、明治生まれで父親も早々に他界し、母を助けるために子守り奉公(女中奉公)として働きました。その後竹屋旅館で働き始め、旧家出身の鳥浜義勇と出会いました。結婚の約束をしましたが「身分違い」だと鳥浜家に反対され、隣町の知覧へと駆け落ちしたのです。そこで、二人で小さな食堂を開きました。その後結婚し、2人の娘を授かりました。知覧町に陸軍知覧飛行場(大刀洗陸軍飛行学校知覧分教場)が完成したのに伴い、富屋食堂は陸軍指定の食堂となりました。以後、多くの飛行隊員がトメのもとを訪れ、1945年(昭和20年)特攻作戦が始まると、トメも知覧から出撃する特攻機の見送りを続け、隊員が憲兵の検閲を避けるためにトメに託した手紙を代理で投函したり、個々の隊員の出撃の様子を自ら綴った手紙を全国の家族のもとへと送り続けたのです。町が主催する進駐軍の歓迎会が富屋食堂で開かれたことをきっかけに、今度は米軍兵士が富屋食堂に出入りするようになりました。生来の面倒見の良さから、トメは米軍兵士からも『ママさん』と親しまれたのです。終戦後の知覧飛行場は、戦後に進駐してきたアメリカ海兵隊に破壊されて跡形も無くなっており、トメが独自で跡地に木切れの慰霊碑を立てて、生花や線香を絶やさずに供し慰霊を続けているだけという状態になっていました。トメは観音堂建立に向けて知覧町役場に協力を要請するなど積極的に行動していましたが、世情もありなかなか実現致しませんでした。やがて、時代の流れと共にトメらの要請を受けて知覧町も工費の一部を負担することとなり、陸軍航空隊知覧飛行場跡地に特攻隊員の精神の顕彰と世界平和の祈念を目的に、昭和30年9月28日『特攻平和観音堂』が建立されたのです。観音像は『知覧特攻平和観音像』と命名され、観音堂に収められました。観音堂参りがその後のトメのライフワークとなり、後に隣接して知覧特攻平和会館などが観音堂の周辺に建設されました。平成4年4月22日、89歳で逝去されました。『命より大切な物がある、それは徳を貫くこと』『人の喜びが、自分の喜び』という、彼女の残した言葉があります。人間として、ロータリーアンとしても、このような精神で生きたいと思いました。



#### 幹事報告 白井 威幹事

##### 理事会報告(承認事項)

- ・親睦旅行について 6月14日予定  
コロナ禍ということもあり、旅行ではなく食事会を検討  
地区事務所より
- ・5月のR I レートのお知らせ 1\$ = 130円

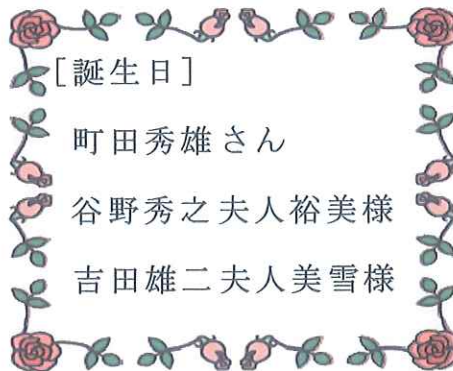


**米山奨学生挨拶** 方 婷婷 様 日高 RC 所属 駿河台大学在学

4 月より、貴クラブ所属となりました方婷婷(ホウテイテイ)と申します。現在、飯能市の駿河台大学にて経営学を学んでおります。在学期間は 1 年間の予定です。卒業後は、日本国内に就職したいと考えております。私は『笑顔』がとても大切だと思っていて、どんな時も笑顔で、人の為に頑張りたいと考えています。日高クラブの皆様とも早く仲良くなって、将来は日本と中国の友好のお手伝いができるようになりたいです。1 年間、宜しくお願い致します。



**結婚誕生祝** 李 濬姫親睦委員



**クラブ協議会** 次年度方針発表 鈴木敏藏会長エレクト

当クラブは会員数減少などにより、スムーズな会長ローテーションが困難になりつつあります。私は第 28 代会長を務めました。その溝を埋めるべく次年度第 40 代会長を引き受けることになりました。次年度 RI 会長は、女性初の会長ジェニファー E. ジョーンズさんです。カナダ、オンタリオ州の方です。RI テーマは『イマジネロータリー(一人一人が、



いかに明るい未来を想像し奉仕をする)』です。次年度 2570 地区ガバナーは村田貴紀さん、2570 パスポート RC の方です。地区スローガンは『地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう』となっております。過日の会長研修会(ペッツ)の時に、あるガバナー補佐が大変参考になる話をされました。「組織を動かす要素は『内部調整・思考・行動・結果』であります。この 4 つの中で、内部調整以外の何処からスタートしても良い結果には繋がらない」というお話でした。私は、多くの行事を進めていく中で内部調整の部分に気を配り、例会・奉仕活動・親睦行事を通じ、クラブ内一人一人が自分の存在価値を感じ、ロータリーライフを楽しめる、協調性あるクラブづくりを目指したいと考えています。次年度のメイン行事である創立 40 周年記念関係ですが、開催日 11 月 15 日(火)開催場所ヘリテージ飯能に決定。コロナで開催出来ない場合は、翌年春に延期する案も考えています。犬竹一浩実行委員長を主軸とする組織表も既に作成済みです。慎重に会議を重ね、全員の記憶に残る、記念式典及び記念事業にしたいと考えています。

村田ガバナーは、次年度『子ども貧困問題』に関する新委員会(こども家庭委員会)を立ち上げました。子どもの貧困問題は身近に迫った問題であり、当クラブが特に力を入れてきた青少年健全育成にも直結することです。「3 組に 1 組の離婚」「児童・生徒の 7 人に 1 人」が貧困家庭との調査結果もあつます。各クラブに対して『ハートのある奉仕』をと支援依頼がありました。対象としては子ども食堂、フードパントリー(一人親家庭等への食品無料配布)、童養護施設、アサポート(生活困窮家庭の子への学習支援)などになります。当クラブも児童養護施設に関しては現在でも(福)同仁学院に毎年寄付をしています。地区から頂いた各地区内案内資料の中に日高市内の『ぬくもりげんき食堂』という日高市社会協議会が母体のボランティア団体でありました。日高市鹿山の高根サロンで最終金曜日(午後 5 時~7 時迄)に開かれています。気になる団体ですので事前調査してからクラブ内で協議したいと思っております。ご理解、ご協力をお願い致します。

出席報告	5 月 10 日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	4/12 修正率
	昼間	19	16	2	3	82.4%	70.6%

**ニコニコボックス報告** 会員 16 名 合計金額 24,000 円 累計金額 360,000 円